

# = Match Report =

平成29年度第96回全国高校サッカー選手権大会栃木大会

準決勝

2017年 10月 28日 (土)

14:00 kick off 会場( 栃木県グリーンスタジアム )

矢板中央高校

vs

小山西高校

5

1 - 1  
4 - 0

1

PK

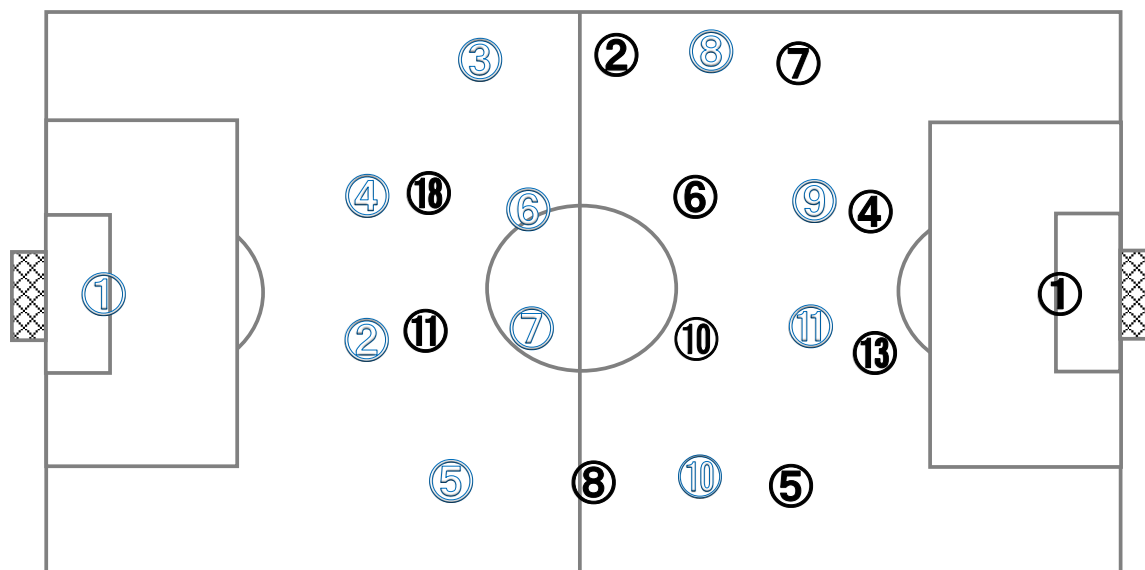
-

矢板中央高校

小山西高校

基本システム 1 - 4 - 4 - 2

基本システム 1 - 4 - 4 - 2



## 【Match Report】

準決勝第2試合。両チームが1-4-4-2でスタート。矢板中央は早めに前線へロングボールを入れる形を目指し、小山西はそのパスの出どころを抑えるべく、高い位置からプレスをかける構図。比較的に優勢であった矢板中央は13分、ミドルサード中央からのFKをFW⑪望月がヘディングで決めて先制点を挙げる。矢板中央が一気に押し込む展開になると思われたが、直後の15分にオウンゴールがあり1-1の同点となった。小山西はスコアに影響されることなく、高い集中力をもって組織的な守備を行う。時折、ミドルサードの高い位置でボールを奪い、シュートチャンスを作る場面もあり、自力で勝る矢板中央に対して互角の展開を見せる。両チームが何度か得点機を迎えるが1-1で前半が終了した。

迎えた後半、前半と比較してオープンな展開となり、矢板中央のロングボールが前線に入りやすくなる。セカンドボールを回収してサイドに展開し、後半から投入されたMF⑫板橋のドリブルでの打開を図る。対する小山西は、ボールを奪う位置が低くなった状況でも、丁寧にパスを繋いで攻撃するが決定機を作るまでには至らない。徐々にフィジカルの差が出始めた64分、矢板中央MF⑥稲見が得点を挙げてリードを奪った。その後も猛攻を仕掛けた矢板中央が勝利を収めた。

敗れた小山西は守備の連動性が高く、矢板中央の攻撃に素晴らしい対応を見せた。攻撃時には長短織り交ぜたパスとスピーディーなドリブルで、幾度となく相手ゴールに迫った。その健闘ぶりは称賛に値する。

勝利した矢板中央は、県内トップクラスの高さ・スピード・テクニックを発揮して決勝への切符を掴んだ。中盤の守備においては課題が見い出されるであろう。万全のコンディションで決勝戦に臨んでいただきたい。

記載責任者 所属( 今市高等学校 ) 氏名( 北村 真一 )